



あしかがたかうじ 足利尊氏は、どんな人だったの



ごだいごてんのう けんむせいふ
後醍醐天皇の建武政府をたおして、武士による政
治を復活した、むらまちばくふ しょだいしょうぐん
治を復活した、室町幕府の初代将軍だよ。

足利氏は、しもつけのくにあしかが
下野国足利（栃木県足利市）に住む、みなもとのよしいえ
源義家 のよしやす
孫義康の子孫です。
げんじ
源氏の将軍家が絶えた後、源氏で第一の名門となりました。尊氏は1305年に、
さだうじ
足利貞氏の長男として生まれました。

かまくらばくふ ろくはらたんだい
鎌倉幕府にそむき、六波羅探題を攻め落とした

1333年、鎌倉幕府から、せんじょうざん
船上山（鳥取県）に立てこもる後醍醐天皇を討て、
と命令されましたが、幕府にそむき、京都の六波羅探題（幕府の出先機関）を攻め
落としました。その後の建武政府の政治に対して不満をもった武士は、尊氏を武士
の代表者としておし立てました。

建武政府をたおし、武士による政治を復活した

1335年、とうごく ほうじょうし ほんらん
東国での北条氏の反乱をしずめた尊氏が、京都に帰れという命令に
そむいて、鎌倉に住み着いたことから、戦いが始まりました。よくねん
翌年、建武政府をた
おした尊氏は、じみょういんとう こうごんじょうこう こうみょう
持明院統の光厳上皇の弟を天皇（光明天皇）にし、後醍醐天皇の
もつ三種の神器を、光明天皇にわたさせました。さらに、けんむしきもく
「建武式目」という法律
を発表して、武士による政治を復活しました。1338年にせいいたいしょうぐん
征夷大將軍に任命され、
「武門の棟りょう（武士の親分）」の地位を確かなものにしました。

後醍醐天皇の死をいたんだ

1339年、後醍醐天皇の死が伝えられると、尊氏は、政治の仕事を7日間休ん
だり、100日間の法要を行ったりしました。さらに、さが てんりゅうじ
嵯峨に天龍寺を建て、6年
後に完成すると、盛大な法要を行いました。1358年4月、せなか
背中にてきた悪性の
はれ物のため、54歳で亡くなりました。